



しらいし あつこ  
白石 厚子

担当 営業部 お客様係

新年あけましておめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になりまして、誠にありがとうございました。今年も宜しくお願い致します。

私の今年の目標は「実家の母にマメに連絡をとる。」です。以前は、用事が無いと連絡を取る事も有りませんでしたし、電話を掛けても不機嫌そうな声が返ってきて、私が不愉快な気分になる事もしばしばでした。今になって思えば私に原因があるのですが。最近では理由も無く電話をしても何時も嬉しそうなお返事が返ってきます。母は今年79歳になり、何時まで元気な姿を見ることが出来るかと、思うような年齢になってしまいました。今のところ、認知症の兆しもなく、お友達とスイミングにカーブスにと張り切って出掛けています。それでも、一緒の時間を共有する時間は残り少なくなっていると感じています。

今年は母と沢山話をして、色々なところに一緒に出掛け楽しい時間を過ごしたいと思います。暖冬とはいえ、寒さもこれからが本番です。皆様どうぞ体調管理には充分にお気を付けください。

## 編集後記

スケジュール管理の工夫は？

あけましておめでとうございます。新しい年がスタートし、日々のスケジュール管理、どうしていますか？ 0～9歳の子どもを持つママからのアンケートサイト「ママこえ」によると、ママたちのスケジュール管理は、1位「ママ自身の手帳」45%、2位「家族全員が見る家のカレンダーに書き込む」28%、3位「携帯、スマホのカレンダー」18%、4位「自分の頭の中ですべて管理」5%、5位「アプリで管理」3%、6位「PC

管理」1%…1位と2位を合わせたアナログ派が73%という結果。意外にもデジタル派は9%と少数派のようで「一度書いたほうが忘れない。ケータイは壊れることがあるので」（4歳・女の子のママ）との声にも納得。また、デジタル派からは「いつも持ち歩いているし、アラート機能もあって便利だから」（0歳・男の子のママ）、「パパともアプリで情報共有できる」との声も。まずは、アナログ派？ デジタル派？今年のスケジュール管理の参考にしてみてくださいね。

